

II、原材料の確認

- 1、搬入される原料茶葉は、有機栽培と慣行、特別栽培で明確に区分されていますか。
 イ、はい（方法は _____ ）
 ロ、いいえ ハ、現在はまだ区別していないが、今後区別する予定
- 2、原料茶葉の検品専任担当者は、いますか
 イ、はい ロ、いいえ
- 3、圃場の緩衝帯が必要な場合、そこでの生産茶葉は区別できますか。
 イ、はい（方法は _____ ）
 ロ、いいえ
 ハ、緩衝帯が必要かどうか、不明
 ニ、自分では、緩衝帯は必要ないと判断している

*緩衝帯とは

隣の慣行栽培圃場から農薬などの飛散を受けるため作物を有機としては扱わないようにするエリア。このことによって有機圃場から使用禁止資材の影響を除外する。

III、荒茶加工

- 1、荒茶加工が有機栽培茶と慣行・特別栽培茶の併用施設の場合、区分はどのようにおこなっていますか。
 イ、まったく別の生産ラインである
 ロ、作業する日をわけている ホ、今後作業日をわける予定
 ハ、作業する時間をわけている ヘ、今後時間をわける予定
 ニ、特に区分していない

*併用施設とは

有機生産された茶葉と非有機生産の茶葉の両方を取り扱う施設。

- 2、併用施設の場合、有機の製造前のラインの清掃はどうしますか。
 イ、清掃ポイントを整理し、マニュアルを定め、マニュアルにしたがって行う予定
 *この場合、マニュアルを添付してください。
 ロ、ざっと見て、残留がある場合のみ清掃する
 ハ、品種が同じであれば特に清掃しない
 ニ、その他（ _____ ）
- 3、蒸し工程で使用する水
 イ、水道水を使用
 ロ、井戸水を使用（この場合水質検査表を添付のこと）
 ハ、その他（この場合水質検査表を添付のこと）

中揉工程	
精揉工程	
乾燥工程	
合組工程	

10、ラインの清掃チェックの記録表の準備はできていますか。

いる（この場合は、生産行程管理規則に添付のこと）

いない

11、設備の清掃に使用する用具はなんですか

ヘチマ ゴムタイヤ

その他（ ）

IV、防虫・防鼠対策

1、荒茶工場内での防虫・防鼠対策はどうしていますか。薬剤の使用がある場合、薬剤名を書いてください。

イ、特に何もしていない

ロ、粘着シートを利用している

ハ、薬剤を使用している

（使用薬剤名 ）

2、工場の周辺の虫やネズミの発生源対策はどうしていますか。

V、記録と記録の管理

1、所持している記録の種類と目的

種類（記録の名称）	目的	種類（記録の名称）	目的

2、記録のサンプル

前項の記録のサンプルを添付してください。各記録とも記載内容がわかる範囲でけっこうです。なお、申請にあたって、新しい記録帳票ができている場合は、生産行程管理規則にそれを添付してください。

VI、出荷する荒茶の表示

1、出荷時の荷物の表示

1.1 現在の表示（記載内容をそのまま転記もしくはラベルを貼ってください）

1.2 今後のモデル（記載予定をそのまま転記もしくはラベルを貼ってください）

VII、廃棄物の処理は、どうしていますか

荒茶加工に伴い発生する廃棄物の処理方法を明記してください。

資源として使用できるもの
一般廃棄物
プラスチック類